

# Recruitment

2018年(平成30年度)卒業予定の方



## 職種

医療事務、受付業務と管理業務をお願いできる方 2名

## お仕事の内容

クリニックの『顔』として患者様に接していただく受付業務と医療事務、管理業務を担当していただきます。医療事務としてのコンピュータ業務だけでなく、接遇から管理業務まで幅広い業務をお願いしています。みなさんが今まで学んでこられた知識や得意分野の実力を発揮しやすい職場です。

1

### 受付業務

カルテ作成、診察券発行、会計、電話対応、患者様のご案内など

2

### 医療事務

保険証の確認と診療項目入力確認、レセプト業務など

3

### 管理業務

帳票作成、物品管理、資材発注、院内整頓、POP作成など



### まずは職場見学

クリニックの中をご案内しています。クリニックらしくない制服や環境に驚かれることでしょう。



医療に興味を持てたら？見てみよう！

実際のお仕事の流れを見学していただくことも可能です。



インターンシップ  
やってみよう！

職場体験学習の受け入れも  
行なっています。

クリニックは上質な安心感を大切にしています。什器はおもにイタリアのカッシーナなどに発注し、その他受注生産された什器や特別に一台だけ注文製作された医療機器なども揃っている専門的なクリニックです。

クリニックを清潔に保ち、物品を適切に管理していただくことも大切なお仕事の一つとなります。コンシェルジュやカウンセラーなどと称して直接患者様に医療内容に関わる説明をしたり、勧誘や営業業務を行っていただくことはありません。



## 応募資格

2018年（平成30年）卒業予定で、4月に満20歳以上になれる方

ワードやエクセルなどを使って定形フォームへのキーボード入力ができる方。医療事務の資格は必須ではありませんが、資格をお持ちの方や医療機関にアルバイト経験のある方は優遇致します。

## 必要書類

(1) 履歴書（写真貼り付け、自筆） (2) 自己紹介文（原稿用紙、ポスター、DVD、YOUTUBEに投稿した動画などでも結構です。ご自身の強み、志望動機などが伝わる内容のものであれば様式は問いません。） (3) 最終学歴を証明するもの（卒業見込み証明書、および成績証明書） (4) 健康診断書 (5) ご自身の能力やスキルを証明する書類（賞状、資格証明書などなくても結構です。） (6) 推薦状（なくても結構です。）

## 応募方法

(A) 第一次：書類審査 下記に必要書類を郵送してください。

宛先 〒530-0047大阪市北区西天満1-2-5大阪JAビル1階

大江橋クリニック 採用担当者 宛て

応募締め切り 12月末日到着分まで

第一次を通過された方には個別に第二次試験、面接の日時と方式をお知らせいたします。



採用プロセス 書類審査を通過された方に筆記試験、パソコン入力試験、面接を行います。試験は一般常識問題を用意しています。

## 賃金形態

研修期間中：概ね3ヶ月程度 時給制1150円～1250円 研修終了後：月給制 毎月の賃金 191360円～208000円 研修期間中も交通費は実費支給。月額3万円までとなります。

## 勤務時間

月曜から金曜 9時30分～19時の受付終了後診察終了まで 休憩2時間。月に1回第一土曜日は予約診療およびレセプト業務のために出勤していただきます。残業は1日30分～1時間程度 月にして10時間程度になります。その他詳細は求人票をごらんください。

## 大江橋クリニックのお仕事の特徴

---

### 形成外科、皮膚科、アレルギー科のクリニックです

一般保険治療を主に行っていますが、予防的、健康増進的医療としての美容医療にも積極的に取り組んでいます。レーザー治療、光治療、手術なども行います。誰の目にも見える「皮膚」の治療は馴染みがある一方、患者様からは毎回目に見える成果を求められます。特に大江橋クリニックにお越しになる患者様は感受性の高い方が多いのが特徴です。患者様に丁寧に優しく笑顔で接することのできる方を募集しています。

### 医師と事務スタッフのみが働くクリニックです

看護師、技師、療法士などがそれぞれ別々の仕事をしているような職場ではありません。風通しが良く情報の共有や意思の疎通がスムーズに行えます。

### 転勤はありません

大江橋クリニックは昭和38年井上医院として始まりましたが名称を変更してもその精神は現在に引き継がれています。一貫した良質の医療を継続して患者様にお届けするため、チェーン店のような分院展開はしていません。大江橋クリニックは梅田からも近いオフィス街にあり中之島バラ園のすぐ北に位置します。

## 綺麗なオフィス街です

近くには大阪市役所、日本銀行、中之島公会堂、高等裁判所、弁護士会館、東洋陶磁美術館などがあります。バラ園のすぐ近くなので、バラが咲くころはオフィスの周りが花の香りで満たされます。日本三大祭りの一つ、天神祭の御神事が行われる鉾流橋や大阪天満宮もすぐそばにあります。

## 先輩からのメッセージ

### 医療事務ってどんなことをしますか？

保険点数は厚生労働省によって決められ、保険診療であれば必ず点数計算が必要になります。診察料、お薬代、処置や採血、検査料などを全て点数に置き換えて計算し、場合によって様々な特定疾患管理料や指導料が算定できるかどうか判断して合計点数を金額に換算したり、支払基金などに提出するレセプト（請求）書類を不備なく毎月作るのが基本のお仕事です。

### 医療事務を目指した理由はなんですか？

保険点数の計算方法には複雑な法則があります。診療報酬点数表の法則が理解できると2年ごとに改正はありますが改定部分を勉強するだけで診療報酬点数表が自由に使いこなせます。保険診療制度を国が廃止しない限り医療事務は専門職として長く必要とされるお仕事だと思いました。

### どうして大江橋クリニックを選びましたか？

大病院に入職すると、配属される部署によりますが最初のうち、例えば会計は一日中会計作業のみをする。あるいは受付だと患者様に番号札を渡すだけ、といった単一のお仕事ばかりになりがちで、医療事務のお仕事を幅広く経験するには長期に渡って配置転換を繰り返すことになりそうでした。早く色々な医療事務のお仕事を偏りなくしたかったというのが志望動機です。また、大病院では医療事務と医師の距離が遠く、医師がどんな治療をしているか見たこともないのに与えられた点数計算だけをしている仕事は医療職という感じがしませんでした。一生の仕事にするには何かちょっと違うなって感じがあったのだと思います。大江橋クリニックでは医療事務と医師の距離が近く、医療現場を実際に見たり機器を見たり教えてもらったりすることによって医療への理解が深まり、より医療事務の知識が深まったと感じています。

### 研修期間ってどんなものですか？

研修期間を設けてあるのは、学校で覚えた医療事務の知識を現場で実際にうまく使いこなせるようにするためのものです。実技演習の場だと考えると良いと思います。



研修期間はなんでも恥ずかしからずに質問できる大切な期間です。トレーニング期間なのでわからないことがあって良いと思います。もう社会人だからと遠慮せず研修期間内にどしどし質問すると良いと思います。研修はカリキュラムに従って進めます。カリキュラム評価表は毎月15日に提出し苦手分野の見直しを行います。

## 医療機関の接遇って会社とは違うの？

接遇は職場によって特色の出る分野だと思います。決められたマニュアルがどこの職場でもあるはずですが、ルールを覚えたらあとは自分なりの工夫ができるはずですが、接遇と聞くと難しく聞こえますが、わたしは接遇とは相手への思いやりだと考えています。年配の患者様には聞こえやすいようにゆっくりと大きめの声で、お子さんには優しく響くようにと心がけています。ではもし不安そうにお越しになった患者様にご家族が付き添って来られたら？あなたならどのように話しかけると良いと思われますか？

そう思うと接遇とは学校生活の延長のようなものではないでしょうか。学校ではクラス担当の先生、お友達、先輩によって対応や話しかたを自然に変えているはずですが、学校の応用で立場が違う人たちが増えただけだと思うとわかりやすいと思います。基本は相手に嫌な思いをさせないこと、相手の立場にたって考えること。自分本位にならないこと。一緒に働く仲間を大切にすること。これほどどこにでも共通することだと思います。

## 他には何をしますか？

職場を清潔に綺麗に保つ努力をしています。例えば患者様用のトイレを使わせていただくときはどのようなことに気をつけると良いでしょうか？物品があるべき場所あり、整った職場で無駄な動線なくキビキビと働けるように。健康に働くことのできるように。そして患者様に心地よい空間をご提供できるように。日々クリーニングにも気を使っています。

## お仕事する上で大切にしていることは？

仲間とのチームワークと患者様に安心感を持っていただける対応を心がけています。患者様から「あの人がいると安心して相談できる。」と言っていただけるような安定した受付対応ができるように言葉と心を尽くすことを日々心がけています。実際にお仕事を見てもらうと、わたしたちが、ただ言われたままのお仕事をこなしているのではないこと、そしてわたしたちに多くの権限が与えられていることがわかると思います。それだけ責任のあるお仕事ですが、わたしたちは医学的根拠に基づいた医療を提供している大江橋クリニックの一員であると自負を持って働いています。お仕事をすることで自分に自信とプライドを持てるようになりました。

転勤や配属がえがないことも理由の一つです。キャリアを積み重ねることができ、かつ第二の家族と言って良い仲間ができ心強くなりました。人間関係の構築もしやすいことは人生において大きなプラスだと感じています。

## わたしの職場見学から今まで

わたしが大江橋クリニックを知ったのは12月くらいだったと思います。「学校求人がでるかもしれないので見てみない？」と就職担当の先生に誘われたことでした。「主任も女性だし、女性が活躍できる職場だよ。」と言われたことが印象的でした。卒業生の方が7年半勤め上げ結婚を機に退職することになったため「誰が引き継いでくれる人はいないですか？」と就職担当の先生に連絡してくれていたことでした。すぐに就職担当の先生に連絡してもらいました。すると、「まずは見学にいらっしやい。」と誘っていただき、全く予備知識もなく気楽に出かけて行きました。

一番びっくりしたことは、大江橋クリニックでは計算機を片手に保険点数を計算するなんてことはしていなかったのです。驚きました。患者様の保険証を確認し、電子カルテの算定が合っているか最終確認をするお仕事でした。いわば下働きなしで現場監督さんになれる。そんな感覚でした。これは大病院でいうといきなり主任クラスの仕事を任されることになる。と身の引き締まる思いをしたことを覚えています。そしてプロのお仕事を実際に見せていただくと無駄がなくコンビネーションが良くまるで劇を見ているような。そんな感覚でした。

その時に先輩から言われたことは「私たちはチームなの。チーム大江橋クリニック。医療事務の本来の仕事は点数計算だけじゃなくてクリニック全体を把握することよ。」と言われました。

わたしは1日も早く仕事に馴染みたかったので学校のインターン制度（職場実習制度）を利用しました。学校では実習点として加算され単位として登録されました。大江橋クリニックでは研修期間として過ごしました。理論と実地が一緒に学べたのはラッキーでした。

研修中はまずはカルテの使い方から保険証の入力方法や確認方法の例題問題がすでに用意しており、何度も練習して自分のものにしました。マニュアルを見なくてもカルテが使えるようになると自信を持ってお仕事できるようになり患者様から「頑張ってるね。」とお声をかけていただけるようになりました。ますます自信ができました。うれしかったです。

研修中は先輩の残してくれたノートに従って自分なりにまとめたりしていました。わたしは覚えるのが遅かったのですが、先輩たちが「一度で覚えられないなら何度でもやってみよう。なんどもなんども繰り返していると勝手に体が覚えてくれるから大丈夫。覚えるまで付き合うよ。」と言われたことが励みになりました。あっという間に研修が無事に終わり、そして就職となりました。こんなわたしをずっと見守ってくれた先輩方に感謝しています。

大江橋クリニックに就職してわたしは3年が経ちました。就職に際して不安だったこと、気になったことを自分なりにまとめて見ました。一例として参考になればと思います。みなさまのこれからの活動のお役に立てれば幸いです。

## 最後に

人からありがとうと直接言っただけのお仕事です。医療事務の実務経験、ビジネスマナー、接遇など様々な経験を積むことができます。自分を成長させたい方にお勧めの職場です。

一般皮膚科や形成外科は日頃よく目にすることが多いと思いますが、大江橋クリニックの美容治療は高度な医療を提供しています。目と耳と傷跡に力を入れています。興味のある方はウェブサイトをご覧ください。( [www.oebashi.jp](http://www.oebashi.jp) )

## 職場見学を希望される方に

---

職場見学を希望される方はお気軽にお問い合わせください。

上記住所にお名前、ご住所、学校名、携帯電話、メールアドレス、質問事項を記載してください。折り返しご連絡いたします。

長くなりましたがわたしたちと一緒に働きたいと思われる方を歓迎します。チーム大江橋クリニックの一員になりたいと思われる方のお越しをお待ちしております。

いただいた個人情報は採用業務にのみ利用し、他の目的には利用しません。詳しくは当院HP内個人情報保護に関する基本方針についてをご覧ください。